東京栴檀会　役員・学年幹事合同会議　議事録（Ｈ２３年８月３０日作成）

開催日時：平成 23 年 8 月 28 日（日）執行部役員会　１０：００～１２：００
役員・学年幹事合同会議１３：００～１６：３０

場所：品川区大崎２-９-４　大崎第二地域センター

出席者：井戸川妙（高３）、渡邊豊三（高４）、片寄洋一・渡部尚武（高６）、渡部文夫・岡田功常・高橋恒子・村田光章（高７）、木幡精一（高８）、佐藤三千雄・石橋勲（高９）、佐藤和征・持田憲治・松本仁（高１０）、鈴木秀夫・木幡實・佐藤宏秀・松本孝之・鈴木昌子（高１２）、冨澤誠（高１３）、市川宏・大元泰弘・谷本多美子（高１４）、木幡忠憲（高１５）、大友やゐ・宇佐見行夫・中澤嘉樹・大井和彦（高１８）、谷津田保雄・辻ノリ子・久保田則男（高１９）、神田幸子（高２０）、鈴木孝光（高２１）、矢島幸子・加藤淳子（高２６）、志賀泉（高３１）、藁谷至（高４４）

書記：大井（高１８回）　　計３７名

会議に先立ち、東日本大震災で被災され亡くなられた双高同窓生、その親戚・知人へ哀悼の意を込めて黙祷を捧げた。

開会の辞：佐藤三千雄副会長　新年総会に向けて活発な議論を期待したい。

会長挨拶：鈴木秀夫会長

・品川区と富岡町をつなぐ心の絆チャリティーイベント、盛会裏に終了。
・母校在校生のサテライト校での状況及び双高基金百万円贈呈（HP 掲載）の件。
・本部より本部機能、同窓会新聞発行委託の件。
・今後、双高はどうあるべきか

役員・学年幹事合同会議では、本部機能及び同窓会新聞発行を東京栴檀会が受けることで了承される。尚、新聞発行・発送には経費が絡む故、確認のため取り決め書を交わして置く。

前回議事録（５／３０）について

議題：１、双高募金の現状報告（中澤会計幹事）

・総額５，３８１，０８８円（４２４名）、母校への熱い思いに感謝を申し上げます。尚、募金は前回の役員会での話し合いを受け、子どもたちのために使う。

２、同窓会新聞編集について

・第７号企画案を佐藤編集長よりあり：例年通り４面とするが、本部の委託を受け全国の同窓会会員に発送することを踏まえて編集をする。特に、見開きの２面３面には、①高１９回卒・佐藤武光氏の震災に関する寄稿及び写真協力を依頼する。②小山本部同窓会長談話、山﨑学校長談話を掲載予定。③故郷町村の双高出身首長（富岡町、広野町、葛尾村）にアンケート取材予定。④野球部奮戦記等。

３、新年総会に向けて

・関東圏に避難をした同窓生に参加の呼びかけをする：ホームページでの呼びかけ、避難した加須市へ行き案内のポスターを貼る、学年幹事が地道に確認の連絡を取る等。
費用は、参加のし易さを考慮し半額が望ましいのではないか。
・これからの総会・懇親会を先輩から後輩に引き継ぐには、幹事学年制の定着が必須。
・総会・懇親会の役割分担表（案）の提示。
・２４年度の懇親会における周年学年の会の状況（サラト名簿による）
還暦の会（高２１回：６０名）、次年度還暦の会（高２２回：６４名）
双高卒業５０年の会（高１４回：８３名）、古希の会（高１３回：７６名）
喜寿の会（高６回：７４名）、傘寿の会（高３回：３９名）
招待・米寿の会（中１６回：６名）等には、代表者名を入れ案内ハガキを１２月上旬に送付。

４、会費納入者を HP に掲載する件：２４年度より実施する。

５、東京栴檀会名簿の各卒業年度別名簿を抜き刷りし、各学年幹事に連絡用として配布する。

６、次年度役員改選に関する意見：

・東京栴檀会が本部の会務を引き受ける状況では、現行体制でもう一期（２年）を継続する。
・執行部役員は一期２年、二期までが望ましいが本部委託の状況を鑑みれば、もう一期現体制はやむを得ない。
・次回１１月５日（土）予定の第３回定例役員・学年幹事合同会議まで、次年度執行部役員案を提示し討議を経て総会に諮る。

７、その他、野球部秋季大会の状況：相双連合チームとして出場。
双高再開という重要・重大な課題をどのように解決していくのか、同窓会の役割とは何かを今後も背負って行かざるを得ない。

議事終了後、谷津田副幹事長の司会により懇親会となる。佐藤武光氏の被災地区のビデオを放映。

以上